

# 平成27年度内閣府 地震・津波防災訓練 【茨城県日立市】

実施報告書  
(概要版)



 **内閣府**  
Cabinet Office, Government of Japan

11月5日は津波防災の日



しんじょう君



ちっちゃいおっさん



みなつしー



くまモン



きいちちゃん

**津波防災ひろめ隊**  
2015-2016

わたしたちご当地キャラクターが、津波防災の取り組みを多くのみなさんにひろめるお手伝いをします。

## 茨城県日立市について

日立市は、豊かな関東平野の北端、茨城県の北東部にあり、南北25.9km、東西17.9km、面積225.71km<sup>2</sup>を有しています。西は阿武隈山系に連なり、東は起伏に富んだ太平洋の海岸線を臨み、穏やかな気候、山・海の豊かな自然環境に恵まれています。明治時代から、鉱業、電気機械産業を中心とする近代産業が発展し、日本有数の工業都市として成長してきました。本市には、長い歴史を物語る貴重な文化遺産が数多くあり、先人たちの確かな息づかいを今に伝えています。また、南北に続く海岸線には6つの海水浴場があり、奥日立きららの里、かみね公園など四季を通じて人々が集う生き生きとした県北の交流拠点でもあります。



出典：日立市勢要覧

## 訓練概要

■訓練想定：11月7日午前9時30分に、茨城県沖を震源とするM8.4の大規模な地震が発生、日立市周辺では震度6強を記録、地震発生直後より津波警報が発表された。日立市は、地震発生後ただちに災害対策本部を設置するとともに、住民に対し防災行政無線等により津波からの避難を呼びかけた。日立市沿岸地域には、午前9時55分頃に津高約5mの津波が到達する見込みとされた。

■実施日時：平成27年11月7日（土）09：30～12：00

シェイクアウト訓練、	
住民等津波避難訓練、情報伝達訓練	09：30～10：30
避難所開設及び運営訓練	09：35～10：30
各種訓練（各自主防災組織の企画）	10：30～12：00

■主催：内閣府、日立市（共催：茨城県）

■参加者数：4,136名

■参加機関：各地区の自主防災組織、地元企業、茨城県警察本部、日立警察署、陸上自衛隊施設教導隊、茨城県防災航空隊、地元小学校・中学校

## 当日の訓練内容

### 09:30～ シェイクアウト訓練

地震が発生した際の安全確保行動「まず低く、頭を守り、動かない」を身につけるため、市内に居住又は通勤・通学する者全員を対象としシェイクアウト訓練を行った。

#### ▼シェイクアウト訓練（小学校）



### 09:35～ 住民等津波避難訓練

津波からの避難要領を確認するため、沿岸部に居住又は勤務する者による避難訓練を行った。

#### ▼避難訓練 （旭町避難階段）



#### ▼避難訓練 （留町津波避難場所）



### 09:35～ 避難所開設及び運営訓練

避難所の開設及び運営要領を確認するため、市職員、自主防災組織及び学校が協力し、避難所の開設及び運営訓練を行った。

#### ▼避難所の開設及び運営



### 10:30～ 自主防災組織の企画による訓練

訓練参加者のさらなる防災意識の高揚及び技能の向上を図るため、各自主防災組織（日高学区、中小路学区、大沼学区、坂下地区）の企画による訓練（煙道体験、救助訓練、消火訓練、炊出し訓練等）を行った。

#### ▼救助訓練



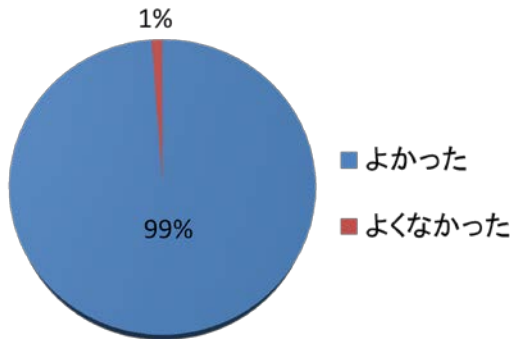
#### ▼消火訓練



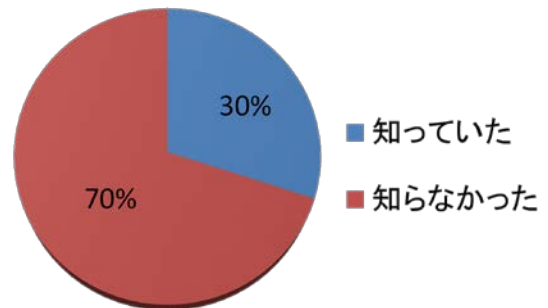
## アンケート結果

住民の方々の防災意識や津波避難対策への取組み状況等を把握するため、アンケート調査を実施した。（回答数：1,632人）

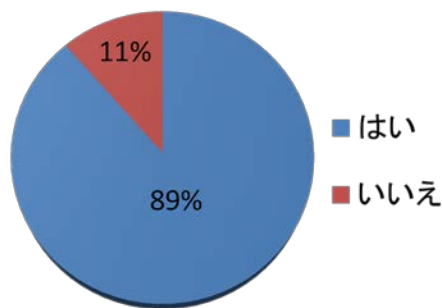
問 訓練に参加して、どう思いましたか？  
（回答数：1,611人）



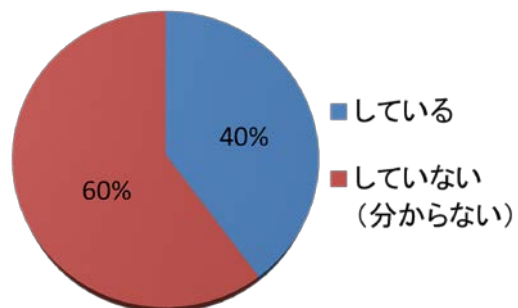
問 11月5日が「津波防災の日」であることを知っていますか？（回答数：1,548人）



問 地震がきたら、まず高いところへ逃げようと思いましたか？（回答数：1,587人）



問 地震等に備えて、非常用持出し袋等を準備していますか？（回答数：1,538人）



## 訓練の評価

訓練当日は、天候にも恵まれ、小学生を含め、企業や地域住民等を合わせ4,136名が、終始熱心かつ真剣な態度で訓練に取り組んだ。

訓練実施後、内閣府・日立市長の訓練講評の後、住民には訓練場所で、小学生には教室（授業の一環として訓練に参加）でアンケート調査を行い、今後の防災対策や防災訓練の参考となるよう「課題と対策案」として整理した。

この結果、「いざという時のために良かった」、「毎年定期的にやるべきである」という評価の一方で、次のような提言や指摘が出された。

- 目の不自由な方や障害のある方を含めた訓練を行うべきである。
- 各地区での訓練内容をもう少し標準化し、各地区の自主性はもとより、もう少しやらねばならぬ項目をいくつか実行して欲しい。
- 更に多くの方々に参加を呼び掛けて欲しい。